

SMI 都心ライン待合・休憩スペースの利用環境を改善します －SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクト－

堺市では、堺都心部における便利・快適でバリアフリーな移動環境の構築に向け、バス待合環境の向上に取り組んでいます。

このたび、令和7年11月4日に設置した、SMI都心ライン待合・休憩スペースに関して、遮熱技術を活用した日除けによる暑さ対策を実施しました。また、より多くの方に利用しやすい環境とするため、ICTを活用した視覚障害者への移動支援を新たに導入し、待合・休憩スペースの利用環境を改善します。

1 遮熱技術を活用した暑さ対策

堺東商店街前の待合・休憩スペースは、日中を通じて日陰が生じないことから、夏季の暑さ対策として建築許可を要しない「フラクタルひよけ※」を設置しました。

※木の葉が茂る構造を数学の「フラクタル幾何学」で再現し、人工的に木陰を作り出す日除け。

直射日光を遮りながら、微細な隙間から風と光を通し、一般的な日除けよりも涼しく、電気を使わない暑さ対策が可能。

設置日	令和 8 年 7 月 31 日（金）設置済
設置場所	堺東商店街前

日除け設置効果（表面温度）



日除け設置状況



未設置箇所



設置箇所

2 ICT を活用した視覚障害者への移動支援

視覚障害者の方は、外出時にベンチの空き状況を把握することが難しく、ベンチ等を利用しにくいという課題があります。そこで、SMI都心ラインの待合・休憩スペースを多様な方が利用しやすい場所とするため、視覚障害者向け移動支援ツールである「NaviLens（ナビレンス）※」を活用して当該スペースの場所やベンチの空き状況を音声で案内し、その有用性を検証します。また、活用にあたっては、視覚障害者の方にご協力いただき、音声案内の方法等を検討します。

※主に視覚障害者の移動支援のために開発されたシステム。スマートフォンアプリと専用コードを利用し、一般の二次元コードよりも長距離から認識でき、コードの位置が分からなくても広角（最大約160度）で認識可能なため、カメラを正面に構えずに音声案内が可能。



NaviLens
コードの例

開始時期	令和 8 年 9 月下旬（予定）
設置場所	堺東商店街前、ジョルノ前



設置箇所位置図

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：建築都市局 交通部 交通政策課
	電 話：072-340-0417
	ファックス：072-228-8468